



# 学校だより

横浜市立相武山小学校

6月号

令和8年5月28日

～ まちのみんな ひとつになあれ ～

## どうしてかな?を大切に

横浜市立相武山小学校  
学 校 長

花壇のあじさいが色づき始め、季節の移り変わりを感じる頃となりました。子どもたちは新しい学年での生活にも慣れ、学習や友だちとの関わりの中で、のびのびとした姿を見せています。

さて、横浜市では、「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指し、子どもたちを取り巻く「今」と子どもたちが羽ばたく「未来」を見据え、子ども一人ひとりが「未来」を創るために必要なこととして、令和8年度から令和11年度の4年間をかけて達成する「第5期横浜市教育振興基本計画」を策定しました。この計画では、子どもの「どうしてかな?」「やってみたい!」を大切に、子どもがもっている力を育てることが大切にされています。本校でも、この考えを日々の教育活動の軸として取り組んでいます。

1年生は、入学式で「郵便屋さん」から受け取った手紙に書かれていた写真の場所を見つけに、「学校たんけん」を始めました。その中で見つけた「バランスイ〜ナちゃん」というキャラクターが、給食室のワゴンに貼られていることに気がきました。そこから、「給食室の中はどうなっているのだろう」「どのようにして給食が作られているのだろう」といった興味が広がっていきました。衛生上の理由から給食室の中に入ることができないと知ると、「自分たちにできるお手伝いをしたい」という思いへと変わり、「調理員さんのお手伝いをしよう」と、そら豆のさやむきに挑戦しました。調理員さんの仕事に触れたり、自分たちの食べるものの準備に関わったりする経験を通して、子どもたちは給食への関心を高めるとともに、調理員さんや栄養士さんの仕事にも目を向けることができました。教師は答えをすぐに伝えるのではなく、「どうしたらいいかな」「どうしてだと思おう」と問い返すことで、子どもたちの考えを引き出し、大切にしています。自分の気付きや発見を友だちに伝えようとする姿から、学びの芽が確かに育っていることを感じます。



本校ではこれからも、子ども一人ひとりがもっている力を信じ、引き出し、伸ばしていけるよう、教育活動を進めてまいります。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。